

自民党

自民党員を募集しています！詳しくはスタッフまで！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（草加市・越谷市）】

ユニバーサルなまちづくり推進について

～第 4 次障害者基本計画が閣議決定～

シリーズ・国会トピック：衆議院外務委員会で質疑を行いました！

きかわだステーション**第 61 号**

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑

衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

自立と誇りある
日本をつくり
ます**ユニバーサルなまちづくり推進について～第 4 次障害者基本計画が閣議決定～**

いつもお読みいただき、誠にありがとうございます。自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

ピョンチャンでの冬季オリンピック・パラリンピックでは、たくさんの日本人選手の活躍に、私自身、大変感動し、とても励まされました。2 年後には、東京でこの感動を味わうことができるかと思うと、とにかく楽しみでなりません。

オリンピック・パラリンピックと言えば、まずは選手や競技に注目するのは当然ですが、開催国ならではの注目すべき点もあります。それは、オリンピック・パラリンピックを契機に「まちをつくる」ということです。

「そんなのは東京 23 区内の話だよ。うちの地域は関係ないよ。」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、確かに競技そのものは限られた地域のみで行われます。しかしながら、世界各国（例：リオデジャネイロでのオリンピックは 206 の国と地域、同国パラリンピックは 159 の国と地域が参加）の事前キャンプの誘致、選手以外の大会関係者、それらに付随する報道陣や観光客の動向を見逃すわけにはいきません。東京に近接する草加市や越谷市は、他の地域と比較して、オリンピックやパラリンピックに広い意味で関わることのできる可能性が高い地域です。

特にパラリンピックは、様々な障害のある選手や関係者が、世界各国からお越しになりますので、これを機に、どんな人でも住みよいユニバーサルなまちをつくる絶好の機会であると私は考えます。

「まちをつくる」と言うと、最近都心で見られるような大規模な再開発を思い浮かべる方も多いと思いますが、ホスト国として、多くの国民の皆様にも、ユニバーサルな「おもてなしの心」をもっていただけのように、新しい制度をつくり出すこともとても重要です。

3 月 30 日（金）の定例閣議で、第 4 次の障害者基本計画が決定されました。この計画は「（前略）全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、（中略）障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的」と定める障害者基本法（第 1 条）に基づき、5 年毎に政府が講ずる最も基本的な計画です。

今回の基本計画は、計画期間中に東京五輪・パラリンピックが開催されることに重点をおき、特に「社会のあらゆる場面におけるアクセシビリティ（利用しやすさ）の向上」を目指しており、障害者に配慮したまちづくりを広く推進していくことが力強く明記されました。同計画策定に際し、私は、自民党内閣第一部会・障害児者問題調査会合同会議での議論に参加しました。そこで私は、当初の政府案には明記されていなかった「パーキングパーミット制度」の普及促進について提案し、最終的な同計画案に盛り込むことができました。「パーキングパーミット制度」とは、障害者等用駐車スペースを必要とする対象者を明確化し、自治体内共通の利用証を交付して駐車車両を識別し、**裏面につづく**

不適正な駐車を抑止することを目的とする制度です。

実はこの制度を知ったのは、草加市内の障害者福祉の現場で活躍される職員さんや、障害があるご家族のいる方々との意見交換がきっかけでした。今回は、福祉現場の生の声を重要な計画に盛り込むことができましたが、計画が実行され、しっかり実現されるよう、引き続き注視していこうと思っています。

「パーキングパーミット制度」の普及促進は、ユニバーサルな「おもてなしの心」を国民の皆様に広めるための取組みの1つと考えます。東京五輪・パラリンピックを機に、草加市・越谷市各市内でも、バリアフリー化等、既存の公共施設の改築等によるハード面でのユニバーサルなまちづくりを進めるべきと私は考えます。加えて、それらの施設を十分に活かすためにも、私たち一人ひとりの「心のユニバーサル化」を進めなければなりません。新しい制度の導入等、ソフト面でのユニバーサルなまちづくりにも積極的に取り組んで参る所存です。

ユニバーサルなまちを実現するという事は、障害者のみならず、子供や高齢者、男性や女性、体格、体力等に関係なく、全ての人にとって住みよいまちになるということです。

誰もが住みよいまちを子供たちに残していくために、市や県と連携して進めて参りますので、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

平成30年4月吉日 黄川田仁志

シリーズ・国会ピック

衆議院外務委員会で質疑を行いました！

3月14日（水）の衆議院外務委員会において、「在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案」に係る質疑を行いました。法案の内容は、フィリピンに在ダバオ日本領事館、並びに、ベルギーのブリュッセルに北大西洋条約機構（NATO）日本政府代表部を新設するというものです。

私からは特に、NATO日本政府代表部新設について質問させていただきました。外務大臣政務官時代を通じて、欧州各国が、極東アジアの安全保障に対する関心が低いことを危惧しておりました。このことにより、欧州各国が、わが国の歴史や領土に関して誤った認識をもっていることから、NATO日本政府代表部には、わが国及びわが国周辺の安全保障問題について、正しい認識をもってもらえるよう努めてもらいたい旨強く要請しました。関連して、NATOサイバー防衛協力センターと新設代表部との協力関係の推進、同センターのあるIT先進国・エストニアとのサイバー分野における協力関係の推進も合せて



花粉症でメガネをかけています

訴えました。さらには、来年、横浜で開催されるTICADVII（アフリカ開発会議）で、アフリカ各国に対し、IT技術・サイバーセキュリティに関する国際協力の推進を積極的に行うよう提案し、同分野において、わが国がリーダーシップを発揮するよう要請しました。これに関連して、2020年に京都で開催される国連犯罪防止刑事司法会議において、サイバー犯罪について、わが国がイニシアチブをとって議論が展開できるよう準備に努めて欲しい旨、併せて要請させていただきました。

その他、2016年7月にバングラデシュの首都・ダッカで発生したレストラン襲撃人質テロ事件以降の在外邦人の安全対策強化、及び、海外メディアの誤った歴史認識報道に対する外務省の対応について質疑を行いました。

「きかわだひとしと日本を語る会」ご出席ありがとうございました！

3月22日（木）19:00から、ロイヤルパークホテルで開催しました「きかわだひとしと日本を語る会」に、多くの皆様のご出席を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。600名近くの皆様に足を運んでいただきました。

また、菅官房長官、岸田政調会長、小野寺防衛大臣等、多くの先輩議員に応援に駆けつけていただきました。皆様の期待に応えられるよう、より一層精進して参ります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員3期目。東京理科大学、米川ラッド大学大学院修了。昭和45年生。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。第3次安倍改造内閣で外務大臣政務官（北米・中南米担当）。衆議院では、外務委員、法務委員、憲法審査会委員。党では、国際局長次、外交部会長代理、国際協力調査会幹事、宇宙・海洋開発特別委員会幹事長代理等を務める。海洋政策が専門。